

チームエッフェガー  
**宇都木実 レースレポート** 2011年10月16日  
**TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.5**  
**YAMAHA スーパーSS (参加7台) Festika Circuit**

フレーム : birel RY30-S3  
 エンジン : YAMAHA KT100SD  
 タイヤ : プリチストン SL07  
 エンジニア : 加藤 真 (レースカービスエッフェガー)  
 メカニック : 立木 保 (チームエッフェガー)

◆レース結果  
 TT 4位 (33.404)  
 予選 5位 (33.773)  
 プレファイナル3位 (33.423)  
 決勝 5位 (33.348)



#### 今大会に向けて

毎年今の時期になると調子を崩す。何とかしてジンクスを破るべく、今までの車と今年のビレルを乗り比べ感触を確かめる。去年までの車の方が自分と相性は良いようだが、勝つ為には一気に変われる何かが必要と敢えてビレルで挑む・・・このところのゴム乗り路面にはかなりの好感触であった。

#### レースレポート (前日)

前日は雨のちハーフウェット・・・予想路面と正反対の路面となる。今思えばここから歯車が狂い始める。雨はまずまずであったが、ハーフウェットではフレームの良い所がまったく掴めず、自分の対応力の低下をも感じ、はまり状態と化す・・・勝つ為のチャレンジが逆に明日に不安を残す結果となる。

#### 公式練習

ハーフウェット状態でコースイン・・・前日できなかったセットを試すがハーフウェット路面の為感触が掴めず。エンジンの調子も見るまでに至らず、皮むきのみで終了。

#### タイムトライアル

路面もドライになる。しかしセット変更も感触は良いが、思ったよりタイムが頭打ちになる。エンジンなのかフレームなのか解らず4番手タイムで終了。

#### 予選ヒート

久しぶりの不調の原因が解らずセットを通常に戻す、路面も良くなるが、がさらにタイムが落ちる。突然のエンジンの不調にも襲われ初心者の様なタイムまで落ち、最悪の展開になる。どうにか粘るが5番手でゴール。

#### プレファイナル

エンジンを変え挽回を決意しスタート・・・エンジンも周りと遜色無くスタートで順位を上げるが、やはりゴム乗り路面の時の様にフレームをうまく操る事が出来ず、納得出来る走りまでは程遠い。前を追うレベルではなく何とか3位でゴール。

#### 決勝ヒート

トップの背中を追うには起死回生のセット変更が必要と、カートを動かせるセットに変更する。以前の自分なら乗りこなせたはずと・・・今回もスタートは決まり2番手に浮上する、前半だけ我慢出来れば必ず良くなるはずが、ここまで実力が落ちたのか?・・・今の自分には乗りこなせず前半ごぼう抜きの憂き目に会う・・・中盤からやっと思ような動きになって来たが、時すでに遅し・・・後半は前の二台を追い上げ、プッシュ出来る所までは行ったが、もう走りの切れも無い状態で最後はブロックされそのまま5位でゴール。

#### レースを終えて

前日からメカをしてくれたタモさん、応援に来てくれた皆さん有難うございました。今回は調子が落ちているのを自分では認めたくないのもあり、今の実力以上を狙い過ぎて、一度狂った歯車は元に戻らず終わりました。次は今の実力を認め原点に戻り、今ある実力を出し切れるレースをしたいと思う。

#### ◆ 2011 年度

シリーズランキング

1位 (61.5 ポイント)

(Rd.5 終了時点)